



めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 honkou-soudan@at-mhk.jp (メールはこちらにどうぞ)

明蓬館高校は 2009 年 4 月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。毎日通えるスクールコースもあります。インターネットをフルに活用し、定期テストではなく成果物で学習を評価、年 4 日間安宅の本校にてスクーリング（面接授業）を受ける学習システムです。

平成 29 年も、スペシャルニーズを凝視し続けます

校長 日野公三

我が校は、目の前にいる一人ひとりの生徒が抱える困難な状況を直視しながら、支援と指導の両面からチームで支える学校です。地域および地域住民のニーズとの融和と止揚を図りながら地域力と家庭力とインターネットの持つ教育力を活用しながら高等学校を運営します。中学、上級学校、福祉、医療、就労との連携も積極的に図り、縦割り・タコツボを壊していきます。一歩先、二歩先のスペシャルニーズを探查し、発掘し、社会に提案していきます。どこにでもある通信制高校から、どこにもない、他に代わりがない、ここにしかない、なくてはならない高校になっていきます。そんな理想を現実のものにしていきます。平成 29 年が、皆様にとってかけがえのない栄光の年になりますことを心から願っております。

新入生 入試面接始まる～選んだのは一芸入試



安宅本校所属生徒 (1月現在)			
スクール	ネット	セルフ	合計
25名	41名	8名	74名

入試は4つの課題から選べます。今回は美術分野。アクリル画作品で。

一年間取り組んだバンド練習の集大成。十曲を〇〇に録音して成果物として提出します。

成果物 (音楽) 発表 録音会



明蓬館高校は、内閣府より特区の認定をいただいている高校。設置認可者は川崎町なので、定期的に視察と指導をいただいています。



川崎町教育委員会 視察



校章のコンセプト

めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 honkou-soudan@at-mhk.jp (メールはこちらどうぞ)

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています。

地域に愛される高校に

新年明けましておめでとうございます。

明蓬館高校が設置認可されて、8年の月日が過ぎ、今年は9年目を迎える年となります。在校生数も300名を超える数となりました。

昨年は「地域に出て学ぼう」をスローガンに、川崎町の各種行事に参加させていただきました。5月竹取物語(魚樂園)、7月戸山神社大掃除、8月オーナリーんご園収穫祭、9月彼岸花文化祭、10月安宅敬老会、11月川崎町まんぷく仮装ウォーキング大会、、、等々。地域の皆様に温かく接していただく中で、生徒達に笑顔と自信が芽生えていきました。教室では学べない多くのことを、地域の皆様から教わっています。この場をお借りいたしまして、心より感謝申し上げます。

さて、今年は、さらにバージョンアップ、「地域に愛される高校に」をスローガンに生徒職員一同、一丸となって頑張っています。

今年もどうぞよろしくお祈りします。

副校長 小賀 友子



ノースポールとカレンダー

花言葉は
感謝・・・



同じ町内の川崎特別支援学校の皆さんが手塩にかけて育てた、プランターの花々と来年の手書きカレンダーをいただきました。感謝。

避難訓練と消防訓練



初期消火
が大切です

年に三回行われる、訓練。川崎町の社会教育課主催です。備えあれば憂いなし。消火器の使い方も習得できています。



クリスマス会

生徒主体のクリスマス会。企画から運営まですべて生徒の実行委員会が行います。ビンゴゲームの会費集めから買い物まで、そしてランチ作りまで。